



# 脳情報デコーディング

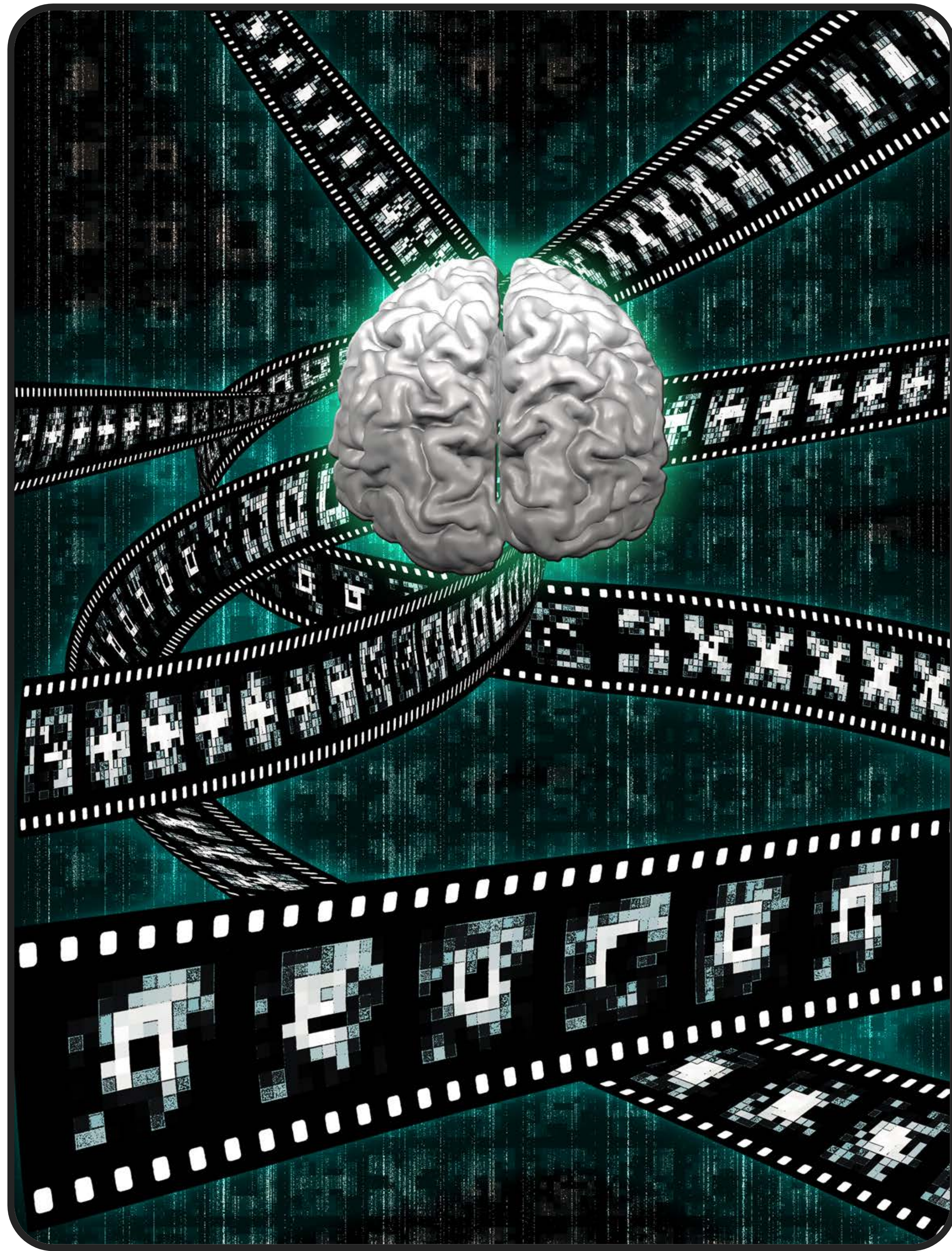
～脳を介した情報通信の実現を目指して～

## 背景と目的

ヒトの知覚や意図、心理状態などを脳活動から予測する脳情報デコーディング技術を開発し、この技術を利用した脳機能の解明を進めると同時に、身体運動や発声を介さない新たな情報通信技術の確立を目指します。

## 特徴

- 刺激や課題を与えたときの脳活動をマッピングする従来の方法とは逆に、脳活動から情報を解読(デコード)するアプローチです。
- 非侵襲計測からでも詳細な脳内情報表現の解読を可能にする技術です。
- アンケートなどでは計測できない心理状態を解読し利用することができます。



## 今後の展開

- 多様な心の状態を解読する高精度アルゴリズムを開発し、高次の認知機能や主観的心理状態の解読を行います。
- 解読結果を利用するアプリケーション、および、インタフェースの開発を進めます。

連絡先:脳情報研究所 担当 神谷之康 E-Mail:dni-info@atr.jp

本研究開発は、文科省脳科学研究戦略推進プログラムMEXT、総務省SCOPE、日産科学振興財団、Honda Research Institute Japan、(株)本田技術研究所の支援により実施したものです。  
(株)ATR-Promotions脳活動イメージングセンタ事業部(BAIC)の協力のもとfMRI実験を行っています。